

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp> TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2012. 11. 25
No.1060

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

自治労連愛知県本部
第2回中央委員会

とき 12月22日(土)13:00
(15日から22日に延期)
ところ 県本部会館



豊橋市職労嘱託職員連絡会
伊藤円さん(左) 寺部幸子さん(右)

「くらし守れ」「働きがいある職場を」 ぞくぞくわき出る、切実な声

12秋季年末闘争 いよいよヤマ場

12秋季年末闘争もいよいよ終盤を迎えました。11月2日には400人を超える全県労働者決起集会を開催し、秋闘のヤマ場への決意を固めました。各単組では賃金・人員問題の改善や非正規職員の待遇改善などに向けて、粘り強い交渉が行われています。

名古屋ブロックはこの間は、豊橋市職労が嘱託職員、市人事委員会の出したマイナス勧告と厳しいたたかいをすすめてきました。その結果、マイナス0・73%の勧告率を0・6%相当に圧縮。「週及」部分から扶養・住居手当などを除算させると回答を引き出しました。55歳超職員の昇給抑制について、半田市などで12月議会には上程しないと非正規職員の待遇改善

雇用継続時の一次試験免除勝ち取る 仲間もどんどん増えています

私たち嘱託職員の一番の要求は「雇用の維持・安定」です。今年の5月、私たちは嘱託職員連絡会を結成しました。月に1度の会議を開き、そこで集まった声を要求としてまとめ、5年に一度行われる継続雇用の試験見直しなど8項目の要求について、当局と交渉を行いました。その結果、私たちの悲願であった継続雇用試験の一次試験の免除や継続更新時の履歴書提出の廃止を勝ち取ることができました。二次試験のあり方や経験年数加算の導入が見送られるなど、まだまだ課題はあります。嘱託職員連絡会の準備会発足時に4人だった仲間も今は34人に増えました。ひきつづき仲間とともにがんばります。



当局との交渉の様子(春日井市職労)

回答。退職手当削減については、碧南市、西尾市などで12月の上程を見送るとの回答を得ており、引き続き県内単組全体で地方へと波及させないとりくみの強化が求められます。また名古屋の退職手当削減に反対する決起集会や、長久手市職労の組合員全員を対象とした学習会も開かれており、交渉の最終局面に向けてとりくみは盛り上がりを見せています。



退職金削減は許さないぞ

「生活がかかっているんだ」 名水労退職手当削減反対決起集会

11月16日、政府は国家公務員の退職手当を約400万円削減する退職手当減額法を強行採決しました。減額法の採決は公務員の労働基本権が制約されている中で、不利益な変更を一方的に押し付け、働く者の権利を踏みにじるもので断じて許されません。引き続き地方への波及を阻止する運動の展開が求められます。11月6日、8日、名水労は退職手当削減に反対する決起集会を愛知県スポーツ会館で開催。2012年度から2014年度までの定年退職予定の組合員を中心に、2日間で90名以上が参加しました。



管理職ユニオン
加納航久さん



名古屋市職労
松井陽佑さん

老後の生活が成り立ちません

私もあと数年で退職です。今まで考えていた老後の生活設計も、退職金が400万円もカットされたら完全に狂ってしまいます。本当に許せない。怒りがわいてきます。子供が大学に通っているのに、まだまだお金はかかります。老後は第二の人生をエンジョイしたかったのに、とてもそれどころではありません。若い人にとっても将来の展望が見えず、働き甲斐がなくなってしまうのではないのでしょうか。55歳超の昇給停止問題も直撃する話なので、みんなの力、組合の力で何とか食い止めましょう。

8日の集会では、加藤書記長が退職手当削減をめぐむ情勢を報告。「退職手当は退職後の重要な生活資金で、その削減は人生設計を破壊する」とし、「地方公務員や民間労働者への波及は、地域経済を疲弊させ市民のくらしを破壊するもの」と批判しました。参加者からは「私ももうすぐ定年。実際に生活がかかっているのに、組合には本音が伝わってほしい」など切実な声があがりました。

名古屋市役所の学事課で働いています。市役所では今どこの課も定数に足りていない状況で、職員一人にかかる負担が大変大きくなっています。メンタルや育休にたいする代替要員も十分に取られていません。私も私学助成の受付業務の時期は特に忙しく、毎日11時ごろまで残業する日が続く状態です。市役所には適正な人員の配置を求めたいです。

給料もまともに上がらない中での一人暮らしは大変厳しく、貯金もできません。よりよい住民サービスをするためにも、働き甲斐のある労働条件を求めてがんばります。

11時まで残業はつらい 一人暮らしも大変です



「人が足りない」はみんなの思い

長久手市職労全体学習会

長久手市職労は11月7日、職場の声を交渉に反映させようと組合員全員を対象に全体学習会を開催。本庁と保育園から20代、30代の若い組合員を中心に75人が参加しました。学習会のテーマは、①「育児休暇や部分休業を取りやすい職場とするには」、②「年休を月

職場の状況を自由に討論

「年休を取るという感覚がないよね」「うちの職場



グループに分かれてみんなでディスカッション

1日以上取るには」、③「残業を減らすには」の3つ。9つのグループに分かれ、1グループ1テーマで討議しました。

じゃ他の人の目線が気になつて取れないけど、そつちはどう?」「残業をなくすには、人を増やさないと難しいね」「そのためには、働きがいを持てるように賃金を上げること必要なんじゃないかな?」などなど職場の垣根を越えて、お互いの状況を中心に自由に討議。どうしたらきちんと休暇が取れるか、残業を減らせるかなど、みんなで意見を出し合いました。

仕事量は減らせない人を増やすしかない

討議後の発表では、「休みを取りやすい職場をつくるのが大事。育児や部分休業など、制度について知らないことも多いので学習が必要」(テーマ①)。「休みを取るためには人を増やすことが大事。そのためには、みんなで声を大きく上げて当局に伝えよう」(テーマ②)。「仕事の質を落とさないためにも仕事量は

減らせない。一人当たりの仕事量を減らすために、人を増やすしかない」(テーマ③)と、各グループから討議内容についてまとめられました。

最後に奥村委員長が、「すべてのテーマに共通しているみなさんの思いはやはり人が足りない、ということ。職員の負担が増えていく状況を放置していると、心と体を壊して病気になるってしまふ。当局には、この点を厳しく追及していきます」と閉会あいさつ。当局との交渉に、この日集まった組合員の思いを届ける、と決意を語りました。



職員を増やせとデモ行進

原発ゼロは国民の意思

11・11全国いっせい行動・名古屋デモ



原発ゼロへ大きく声を上げる参加者

11月11日、東京の反原発デモに呼応して、全国で原発ゼロを訴えるデモが行われました。愛知県内でも20カ所以上でとりくまれ、久屋広場で開かれた「原発ゼロ

集会では、集まった参加者を前に、愛知民医連の早川会長が「原発ゼロは私たち国民の意思。原発のない社会を実現しよう」と主催者を代表してあいさつ。雨の中集まった多くの仲間とあらためて原発ゼロの思いを一つにしました。

集会後は、関西電力東海支社前までデモ行進。笛や太鼓のリズムに合わせ、元気に脱原発を訴えました。

夜勤は体調管理が大変

ドクター・ナース・介護ウエーブ

11月10日、名古屋市中区の若宮広場で「ドクター・ナース・介護ウエーブ」が行われました。自治労連、医労連、民医連の主催で86人が白衣をまとって参加。「安全・安心の医療と介護を実現しよう」と、意思統一しました。

集会では、医療制度や介護の実態について訴えられ、豊橋医療センターの石川看護師は、夜勤で患者45人を2人の看護師で見る病棟があるなど厳しい現場の実態を報告。「看護師は体調管理も大変。良い医療と看護をするには、健康で働き続けられる職場があつてこそ。みなさん、ともに声を上げましょう」と呼びかけました。

集会後、栄に向けて「医療・社会保障予算を増やせ」などシュプレヒコールをしながらパレード。栄交差点では、夜勤改善や大幅増員を求める署名・宣伝行動にとりくみました。

「言いたい劇場」

小菅りや子

被災地の仮設住宅に友人から手紙が届いた。君が送った手紙のセーターのお礼が届いたんだ。

やっぱり家にはすきま風が入るぞ。

被災地の悩みや脱原発の声を届ける。

国民と永田町のすきま風もぜんぜん改善さなうな。

セッ共済

安くて安心

自治労連 掛金 1790円/月 → 病気入院 5000円/1日

TOPICS

安全衛生研修会

「職場に安全衛生法を」

11月8日 労働会館

労働安全衛生法の基礎知識と活用の仕方、メンタルヘルスの対策について学びました。123名が参加。

11・15 地域総行動

「暮らし・福祉・安心へ」

11月15日 名古屋

労働者・国民のくらしを守ろうと全県で朝宣伝。名古屋市内では、町内会役員を対象に市民生活アンケートを行い、市民の声を集めました。

- 石川 雄策 (蒲郡市職)
- 大内 理香子 (半田市職)
- 酒井 寿 (岩倉市職)
- 鈴木 美枝 (豊橋市職)
- 木賊 優子 (名水労)
- 服部 智亜紀 (名古屋市職)
- 藤井 亜美 (瀬戸市職)
- 村田 昌彦 (豊橋市職)
- 森 加代子 (名古屋市職)
- 安田 純子 (長久手市職)

1056号のクイズの答えは「ヒガンバナ」でした。42通応募で41通が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。

クイズの当選者

おたのしみプレゼントつき

クロスワードパズル

カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。

【タテのカギ】①美声で一流の「タテ」に成長 ②心理的に苦しむ ③人生〇〇に感じる ④を一心に集める ⑤小児の腎部のあざ。黄色人種に多い ⑥の2割引き ⑦画家の世界 ⑧〇〇は広いな ⑨〇〇の張り合い

【ヨコのカギ】②200kgを持ち上げる―― ③旧暦 11月の異称 ⑦勇ましく雄々しい門出 ⑧体裁。〇〇のいい言葉 ⑨企業などの活動が引き起こす汚染、騒音などの害 ⑪左派の対局を――する案 ⑭――療法、――人

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード(1000円分)を贈呈します。

〒462-0845

名古屋北柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは12月31日必着。ハガキに近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。